

■ヘッドライン

NCCN「大腸がんガイドライン」の日本語版シリーズ出そろう  
《永田町&霞が関ウオッチ》診療・介護報酬は同時引き上げ 民主の公約素案  
学会・会合  
トピックス

●●PR●●XX  
【購読受付中】

■■■医療制度の動きをリアルタイムで伝える総合情報サイト■■■  
メディファクスウェブ  
↓↓↓↓詳細はこちら↓↓↓↓  
<https://medifax.jp/>

XX

■国内ニュース

◎NCCN「大腸がんガイドライン」の日本語版シリーズ出そろう

神戸市の先端医療振興財団臨床研究情報センター(TRI)は、今年1月から米国のがん診療ガイドライン(GL)である「NCCNガイドライン日本語版」のインターネットでの公開配信を開始したが、スタートを切った「大腸がん」のシリーズが7日に出そろった。

同GLは、全米の21がんセンターで構成するGL策定組織NCCN(非営利)が作成したもので、世界的に広く活用されている。日本語版は国内の学会・研究会の協力を得てTRIが翻訳作業を進め、大腸がんは「大腸癌研究会」の監修をつけて公開、同研究会のコメントも付記している。大腸がんは1月に結腸がん、直腸がん、3月に肛門がんを公開、今回「大腸がんスクリーニング」の公開で完結した。今後は公開されたGLを適宜、改訂・更新を行う形になる。次のシリーズは泌尿器系がんの予定。

TRIはこのNCCNガイドライン日本語版の評価について、3月に行われた日本臨床腫瘍学会でのブース展示、4月のがん患者会への郵送などを通じてアンケート調査を行った。調査結果は、日本語版の配信について97%が何らかの必要性を認めた。否定的な回答は2%にすぎなかった。回答者は医師34%、薬剤師19%、看護師19%、患者団体関係者13%、医療関連企業関係者11%の分布だった。

このサイトの名称は「NCCNガイドライン日本語版」。

■日刊薬業 本日の主な内容

- ・民主・企画委 ラグ解消や予防接種見直し、研究会が提言
- ・ヤンセン/武田 抗がん剤「ベルケイド」をコプロ
- ・大日本住友・3月期連結 海外子会社連結などで増収増益
- ・塩野義・3月期 クレストールと米子会社寄与で22.4%増収
- ・大洋薬品 「ムコセラムLカプセル45」を自主回収

記事の概要はこちら>> <http://nk.jiho.jp/>

◎《永田町&霞が関ウオッチ》診療・介護報酬は同時引き上げ 民主の公約素案

民主党の参院選のマニフェストを検討してきた国民生活研究会(会長=中野

